

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	『法人の理念』をより身近にするためにも、法人の理念を実践に結び付けていく事を期待したい。	「常に安全・安心の精神のもと施設内外の環境整備に力を注ぐ」という理念を家族に実感して頂けるよう、従業員に理解させ、実践できるよう努める。	法人の理念を実践に結び付けていく為に、通達など具体的な内容を掲示し、朝礼・夕礼等で徹底することにより、タイムリーな理念の実践に結び付けていく。	2ヶ月
2	10	ホームから足の遠のいている家族が多く感じられる。ホームの運営に興味を持たれるような工夫を望みたい。	ホームの運営に興味を持たれ、安心して家族が過ごせるよう、今まで以上に利用者の状態の変化を伝えていく。	家族に送付している2ヶ月間の様子のお知らせに写真を取り入れ、活字だけではなく、表情からも安心して頂けるように工夫する。お知らせなどにも面会のお誘いや行事の参加を促す内容を盛り込み、ホームに興味を持って頂けるよう案内する。	4ヶ月
3	49	家族の望む外出支援と家族の現状認識にズレを感じる。利用者の外出状況をより理解しやすく伝える工夫を望みたい。	利用者の現状を家族に常に理解させ、外出の際も季節や月日を感じられ、理解が深まる記録として残るような工夫を行う。	外出レクは家族の積極的な参加を呼びかけて、日頃の様子や心身の状況をその場で伝えていけるように工夫する。散歩などの記録は、利用者の好み等について会話したことなども記載し、外出状況をより理解しやすく伝えていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。